

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和元年度 第3回入間市空家等対策協議会
開 催 日 時	令和2年2月6日(木) ・ 開会 午後1時30分 ・ 閉会 午後3時00分
開 催 場 所	入間市産業文化センター 研修室(A)
議 長 氏 名	入間市長 田中龍夫
出席委員(者)氏名	枘川典生、木村仁美、齋藤勝久、宮木博文、石田直紀、 森江武志、長谷川敏男、河野陽子、白井秀
欠席委員(者)氏名	宮嶋義伸、森田真一
説明者の職氏名	都市計画課長 藤田拓也 危機管理課主幹 齊藤謙治
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開会 会長あいさつ 2 議題 (1) 入間市空き家等対策計画の推進について(公開) ①空き家バンクの登録等状況について ②令和元年度入間市三世代同居・近居支援補助金について ③空き家等対策の取り組みについて (2) 特定空家等の指導経過について(非公開) (3) その他 3 その他 4 閉会
非 公 開 理 由	個人情報保護のため
傍 聴 者 数	3名
配 布 資 料	資料1-1 空き家バンク登録等状況について 資料1-2 令和元年度入間市三世代同居・近居支援補助金資料 資料2 空き家等対策の取り組み 資料3 特定空家等の指導経過等について 参考1 平成30年住宅土地統計調査結果 参考2 入間市空家等対策協議会委員の改選について
事務局職員職氏名	危機管理監 長谷川芳明 危機管理課長 半田英樹 危機管理課主幹 齊藤謙治 危機管理課主任 藤島則雄 危機管理課主事補 星野秀和
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

1 開会 午後1時30分

会長あいさつ

2 議題

(1) 入間市空き家等対策計画の推進について

①空き家バンクの登録等状況について

空き家バンクの状況について、資料1-1に基づき説明。令和元年11月に、空き家バンクを開始して初めての成約が決まった。その他の状況については、前回報告時（令和元年6月末）より変化がない状況である。

②令和元年度入間市三世代同居・近居支援補助金について

入間市三世代同居・近居支援補助金について、資料1-2に基づき説明。現時点で交付の決定件数が8件、交付決定額が290万円となっている。また、事前相談段階件数として12件、その交付予定額が400万円となっている。当制度は、来年度も実施予定である。

③空き家等対策の取り組みについて

空き家等対策の取り組みについて、資料2に基づき説明。令和元年度の主な取り組みとして、広報いるまによる適正管理の啓発、納税通知書の封書への空家バンクのチラシの同封、空き家相談会の開催（中止）、相続おしかけ講座の開催、定期調査の実施、特定空家等への措置に取り組んだ。令和2年度については、概ね令和元年度の取り組みを継続して行う予定である。

(2) 特定空家等の指導経過等について（第1期、第2期）

（非公開部分）

(3) その他

なし。

3 その他

その他として平成30年住宅土地統計調査結果の報告、委員の改選について説明を行った。

議事の概要（経過）・決定事項

4 閉会

午後3時00分

発 言 者	発 言 内 容
議長	<p>それでは「（１）専門機関と連携した空き家相談会について」の「①空き家バンクの登録等状況について」、「②令和元年度入間市三世代同居・近居支援補助金について」を議題とする。担当職員より説明をお願いします。</p>
担当職員 （藤田課長）	<p>まず、空き家バンクの登録等状況について説明する。令和元年１１月に空き家バンクを開始して初めての成約が決まった。その他については、今年度の第１回協議会での報告時より変化はない状況である。空き家バンクの登録等状況については以上である。</p> <p>続けて、入間市三世代同居・近居支援補助金について説明する。当制度は入間市内で親世代と同居または近居を始めるために、市外から転入する子育て世代に対し、住居の取得や増改築などを行う費用の一部を補助する制度であり、今年度より開始した事業である。現時点で交付決定件数８件、交付決定額が２９０万円となっている。また、事前相談段階件数として１２件、その交付予定額が４００万円となっている。当制度は、来年度も継続して実施予定である。担当職員からは以上である。</p>
議長	<p>空き家バンクの登録件数は依然として少ない状況にあるが、担当としてはどう分析しているのか。</p>
担当職員 （藤田課長）	<p>登録件数が多い地方に比べて、入間市では不動産業者が多く、空家バンクに登録する前に不動産業者が取り扱う状況になっているのではないかと考えている。</p>
齋藤委員	<p>利用者が入間市に転入するにあたり、その理由が分かれば知りたい。</p>
担当職員	<p>この制度は親世代と同居・近居するものであるので、元々入間市出身の</p>

発 言 者	発 言 内 容
(藤田課長)	利用者が多く、それが理由となる場合が多い。
議長	担当職員は本日出た意見をできるだけ反映し、2つの事業が効果的に実施できるようお願いします。次の議題に移る。「③空き家対策の取り組みについて」を議題とする。事務局より説明をお願いします。
事務局 (齊藤主幹)	<p>今年度の空き家対策の取り組みの報告と来年度の取り組み案を説明する。</p> <p>まず、「広報いるま」9月1日号に空き家適正管理の啓発記事を掲載した。来年度も引き続き掲載する予定である。</p> <p>固定資産税納税通知の封書には空き家バンクのチラシを同封した。来年度はこれに併せて空き家の適正管理の啓発文を同封する予定である。</p> <p>入間市主催の空き家相談会については、参加者を募ったが、対象者無しとなり中止となった。来年度も参加者を募り、開催したいと考えている。</p> <p>埼玉県主催の相続おしかけ講座を市内西武地区で開催した。来年度も継続して開催したいと考えている。</p> <p>空き家等の調査として、市で把握している空き家について、年2回ずつの定期調査を実施した。来年度も引き続き実施予定である。</p> <p>特定空家等への措置については、今年度に9件のうち2件が解体された。その他詳細については、次の議題で説明する。事務局からは以上である。</p>
議長	定期調査はどのような物件に対して行っているのか。
事務局 (齊藤主幹)	市で把握している物件については全件実施している。

発 言 者	発 言 内 容
枅川委員	埼玉県主催の相続おしかけ講座は好評であったとのことであるが、入間市主催の空き家相談会は中止となっている。空き家相談会の形式の検討が必要ではないか。例えば、講座と相談会を同日に実施するなど。
事務局 (齊藤主幹)	相続おしかけ講座は市町村でも申込が可能であると聞いている。そういったものを活用して入間市独自の相談会を開催できるよう検討していく。
議長	空き家相談会と相続おしかけ講座では広報の方法に違いがあるのか。
事務局 (齊藤主幹)	両者に違いはなく、市報、ホームページ、チラシによって広報している。
河野委員	空き家所有者に対しての適正管理の啓発だけではなく、空き家問題そのものの広報がより必要だと感じる。
木村委員	河野委員の意見に賛成である。空き家問題は、一般の人々にとって問題意識が低いものだと感じている。
事務局 (齊藤主幹)	検討させていただく。
議長	<p>1月に予定した空き家相談会は中止となってしまったが、宮木委員、宮嶋委員（本日欠席）には準備段階での協力感謝する。</p> <p>事務局は本日の意見をできるだけ反映し、来年度の空き家対策に取り組むようお願いする。次の議題に移る。「（2）特定空家等の指導経過等について」を議題とする。事務局より説明をお願いする。</p>

発 言 者	発 言 内 容
<p>議長</p> <p>事務局</p> <p>議長</p> <p>事務局 (齊藤主幹)</p>	<p>(非公開部分)</p> <p>次の議題に移る。「(3) その他」として、事務局より何かあるか。</p> <p>無し。</p> <p>それでは、本日予定していた事項は全て終了したため、議長の任を解かせていただく。</p> <p>その他として、2点事務連絡をする。まず、平成30年住宅土地統計調査の結果が参考2のとおりに掲載された。埼玉県、入間市ともに他の県、市と比較して空き家率は低いという結果となった。</p> <p>次に、入間市空家等対策協議会の改選についてである。現委員の任期が今年5月31日までとなる。引き続き、各協力団体には選出依頼をすることになるため、承知をお願いする。以上事務連絡とする。</p>
<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>令和2年 2月 26日</p> <p>議 長 の 署 名 田中 龍夫</p> <p>議長が指名した者の署名 河野 陽子</p>	